

福島原発事故から二年半 － 事実を見極める－

後藤 貞雄

2013年9月11日

<http://realstory67.web.fc2.com/>

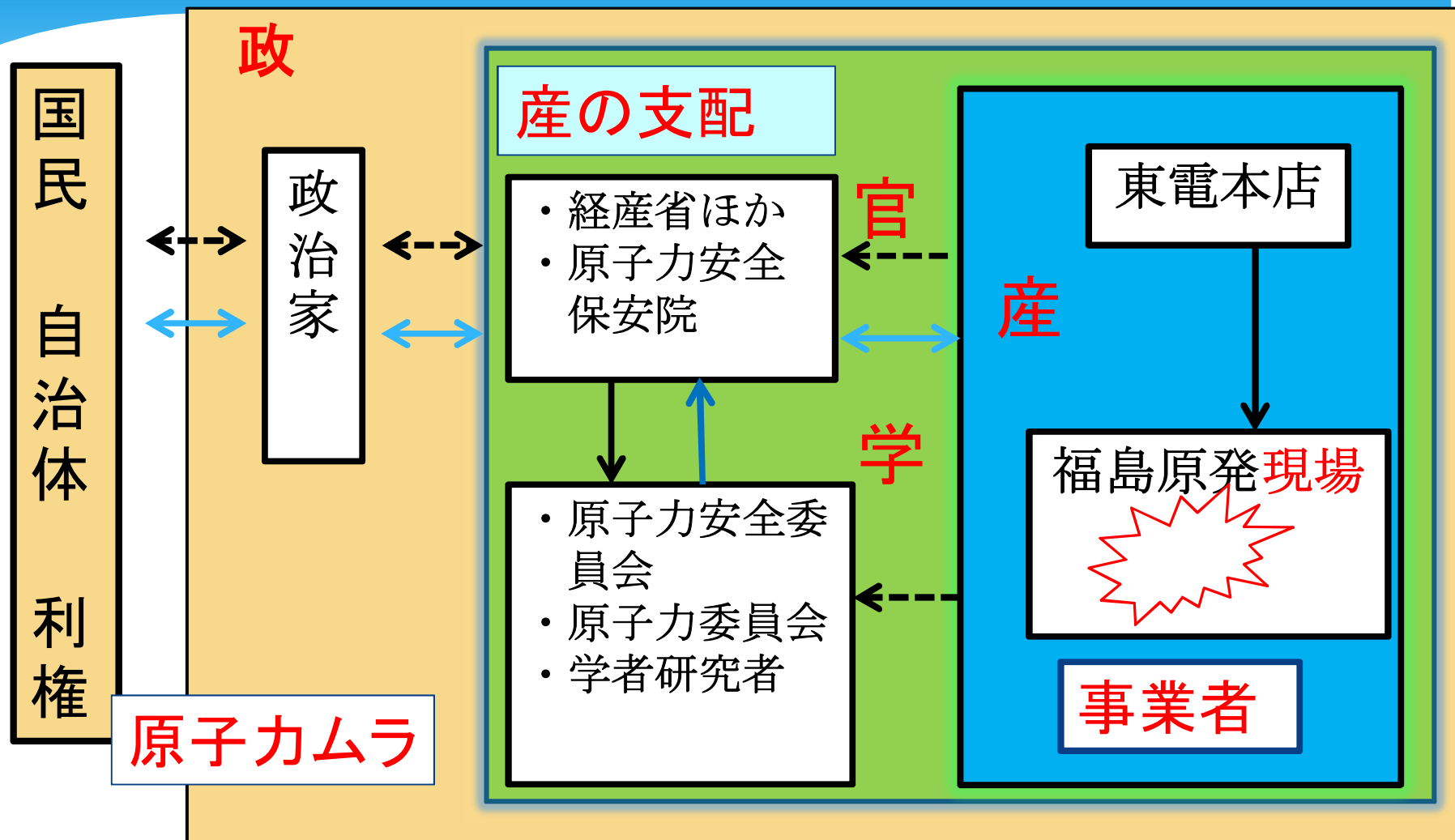
- 第1章 概要
- 第2章 リスクマネジメントと危機管理
- 第3章 事故の経過と実態
- 第4章 事故の原因と背景
- 第5章 四つの事故調査委員会

第4章 事故の原因と背景

4.1 原因は事故以前にある

人は過つ		
背景	人間	原子力の利便性・危険性
原因1	忘却・他人事・暗示・自己中	国策・ムラの形成
原因2	日本社会:原爆・平和ボケ・絶対安全・技術過信・言霊 国土稠密・人口稠密	
原因3	安全神話(技術過信)	
原因4	規制当局と事業者の怠慢、思い込み	
原因5	全交流電源喪失想定不要指針・津波軽視	
「一つ欠ければ起こらなかった」 「事故の原因は例外なく人間である」		

原発事故－産官学政の実質的構造



原子カムラ

支配 ---->

従属・依存・利用 ←

原発事故の背景

1. 全交流電源喪失想定不要指針：事業者の力
津波軽視
⇒官（政府、保安院）と電気事業者
2. 官、事業者の縦割り組織：自組織ベスト、責任回避
3. 技術力＝造る技術＋考えの技術（使う技術）
技術力＝基準＋自ら考える技術
4. 平和ボケ：四辺海、単一民族、平時の社会・人材、その他
5. 日本人の絶対安全意識、神頼み⇒情緒的思考
世界の安全意識：リスクは必ずある⇒論理的思考
6. 安全神話：4,5＋利便性、技術立国、国土狭い、
人口密度、説得、思い込み（言葉）、被爆国、非資源国

4.2 全交流電源喪失(SBO)想定不要の規定と 産官学の力関係

1. 発電用軽水炉型原子炉施設に関する**安全設計審査指針**
(1990/8/30 策定 原子力安全委員会制定)

2. 同指針27 同解説(抜粋)

長時間の**SBOは考慮不要**(修復期待)

3. 産、官、学の力関係(産・官がコントロール)

① 名目上の力関係: 学 \geq 官 \geq 産

② 実質上の力関係: 学 \leq 官 \leq 産

(データ保有、設備を所有・建設・運転・維持管理)

4. **SBO不要規定(異常・奇妙)**

① 利益を受ける者: 産(事業者)の意志(最初の規定1977年)

② 1993年見直しに事業者が反対⇒見送り(議事録)

5. 技術力: 技術力 = 造る技術 + 考えの技術(使う技術)

技術力 = 基準 + 自ら⁵考える技術